

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	多文化共生推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	8	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	企画財政課			
施策	144世界と結びつく国際化の促進	担当課室長	小笠原 直樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	次年度に向けて、センターの運営方法及び通訳ボランティアの活用方法の見直しを図る。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	外国人住民の利便性向上のため、タブレット端末による多言語アプリの導入や通訳・翻訳ボランティアを活用し、多言語による相談を受け付ける。
②①に基づく取り組み結果	多文化共生推進センター及び通訳ボランティアの活用方法について見直しを行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の外国人及び日本人	意図(対象をどうするのか)	多文化共生社会の実現
②事務事業の概要	多文化共生社会の実現のために設置した多文化共生推進センター(愛称:かまがやワールドプラザ)を拠点として、学習機会の提供、情報発信、相談等を実施するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	外国人住民が増加傾向にある中で、今後も外国人の方が暮らしやすいまちづくりにつながる施策や相談受け入れ態勢を実施していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	自主事業の開催(3回)、プラザ通信の発行(4月・10月)						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	市内外国人数	1,488	1,645	1,725	人	統計かまがや
	ii	多文化共生推進連絡協議会団体数	4	4	4	団体	業務取得
iii	多文化共生推進センター来所者数	2,383	2,494	2,176	人	業務取得	
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳			令和2年度予算	
事業費(千円)	4,881	4,783	金額(千円)		内容		4,859
	国支出金(千円)		986		プロジェクトマネージャー報酬		
	県支出金(千円)		2,636		非常勤職員賃金		
	市債その他(千円)		794		通訳ボランティア謝礼		
	一般財源(千円)	4,881	4,783				4,859

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	多文化共生推進センターの認知度が低く、利用者は少ないが、一方で、外国人住民数は増加傾向にあり、多言語による相談体制を強化する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	多文化共生推進センターによる多言語での相談体制等について、引き続き検討を行う必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30⇒R1繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和2年度への繰越額(単位:千円)					